

## 市民会館ワークショップ 実施結果（各班発表の概要）

### ○第2回（11月9日実施）

#### ◎議論1：市民会館に求められる機能について

- 1班 民間的な商業施設と公益性のバランスが重要だと思いました。
- ・ギャラリー機能（学芸員がいて企画展示や収蔵ができる）
  - ・発表練習のための施設や機能
  - ・エントランス等を憩いの場とするなど、居場所機能
  - ・情報発信をする機能
  - ・運営側に市民が参加でき、議論ができるような機能
  - ・自然と人の流れができるような施設
  - ・様々な世代が利用しやすい施設
  - ・複合施設を運営するうえで、総合的な事業を企画する部門（人が集えるような）
- 2班
- ・多目的に利用できる会議室（数の増設、フリースペースなど）
  - ・トイレ機能の充実（キッズルーム、高齢者や女性が多いため数の増設、洋式・和式ともに）
  - ・図書館に加えて文書館機能もプラス
  - ・飲食ができるようなライブハウス（ジャズなど）
  - ・伝統文化を続けるための設備（会議室の中に水屋が設置してあるなど）
  - ・避難施設としての役割
- 3班
- ・博物館機能（収蔵、美術品の修復、藤沢文化の研究など）
  - ・若い人たちが集まる、社会教育の役割を持った空間
  - ・子育ての拠点
  - ・観光客が来るレストラン
  - ・藤沢の農産物を販売する場所
  - ・障がい者の作品を販売するスペース
  - ・公民館でやっているような文化活動の場
  - ・スタジオ（小ホールより小さい）

◎議論 2：市民会館に求められるホール機能について

- 1 班
- ・ 目的、機能によって大小ホールを分ける  
(例オーケストラ→大ホール、演劇→小ホールなど)
  - ・ 使う側の意見として、親子室、バリアフリーの充実
  - ・ メンテナンスしやすく、長く使えるもの
  - ・ 市民会館を使ってみたいと思われるホール
- 2 班
- 鎌倉芸術館をイメージして話し合いました。
  - ・ 大ホールは多目的機能を (大型ディスプレイなども利用可)
  - ・ 座席の配置 (広げる、前の人にかぶらないようにずらす)
  - ・ どん帳については和洋共用できるもの
  - ・ 搬出入のしやすさ
  - ・ バリアフリーの座席
  - ・ 楽屋の機能充実
  - ・ 座席をはずしてフラットスペースが作れるような仕様
  - ・ 古典芸能の向けの舞台
- 3 班
- 経済優先で考えてしまうと文化は育たないということを前提に考えました。大小ホールは鑑賞用だけではなく、その場所で交流ができることが大事だと思いました。
  - ・ ロビー・ホワイエの充実 (交流の場として)
  - ・ 親子室の充実
  - ・ 楽屋・リハ室・音響設備の充実
  - ・ ワインも飲めるようなスペース
  - ・ クラシック仕様の小ホール

★☆☆ 意見まとめ ★☆☆

◎ 市民会館に求められる機能について

- ・ 美術品等の企画展示できる機能
- ・ 博物館としての機能
- ・ 発表等の練習場所としての機能
- ・ 小規模な発表等も行える機能
- ・ 様々な人が集える“居場所”としての機能
- ・ 情報発信拠点としての機能
- ・ 災害時の避難施設としての機能
- ・ 伝統文化を継承していくための機能
- ・ 図書館及び文書館機能
- ・ 文化活動や社会教育のための機能
- ・ 子育て拠点としての機能
- ・ 市民参加による運営

◎ 市民会館に求められるホール機能について

- ・ 多目的に使用できる大ホール機能
- ・ クラシック仕様の小ホール機能
- ・ 古典芸能向けの舞台としての機能
- ・ フラットスペース化できるホール機能
- ・ ロビーやホワイエで交流が行える機能
- ・ 搬出入に配慮した機能
- ・ 楽屋機能の充実
- ・ リハーサル等に利用できる施設機能
- ・ 工夫した座席配置による観覧性の向上
- ・ 親子連れでも鑑賞が行えるような機能
- ・ バリアフリーへの配慮（見る側だけでなく使う側にも）
- ・ 観劇の合間等にくつろげるようなスペース（軽喫茶等）
- ・ メンテナンス性の高い施設及び設備